

令和7年度

第1回 富士特別支援学校富士東分校学校運営協議会（報告）

1 日 時 令和7年6月5日（木）午前10時から正午まで

2 参加者

(1) 学校運営協議会委員（敬称略）

上村 一成（元特別支援学校長 教職員サポートルーム相談員）
鈴木 修（特定非営利活動法人くらしえん・しごとえん 代表理事）
船津 裕子（船津クリニック 薬剤師）
佐野 勝（青葉台地区町内連合会 会長）
熊谷 仁（富士東高等学校 副校長）
高橋 美喜（富士東分校 PTA会長）

(2) 教職員

高田 宗享（校長）
鈴木 耕輔（副校長）
杉澤 陵太（部主事）
浦 れい（教務課長、2年主任）
仁藤 正訓（1年主任）
長田 翔太（3年主任）

3 次第

- (1) 校長あいさつ
- (2) 任命書交付
- (3) 会長、副会長の選任
- (4) 議事 ア. 令和7年度 学校経営計画について
- (5) 校内参観
- (6) 議事 イ. 協議（グループワーク）
テーマ「より良い富士東分校にするために、今日から私が
できること」について
- (7) コンプライアンス委員会

【議事録】

1 校長あいさつ

富士東分校は今年で開校3年目を迎え、いよいよ全学年がそろいました。職員も増員され、本格的に3学年体制での学校運営がスタートします。

その中で大変心強く感じているのは、これまでと変わらず学校運営協議会の皆さまが支え続けてくださっていることです。本日は、生徒も参加するグループワークを予定しており、これは富士東分校ならではの特色ある取り組みだと感じています。

このような富士東分校の良さを活かし、今後もより良い学校づくりに向けて、学校運営協議会がその役割を存分に果たしていただくことを願っています。

2 任命書交付

- ・ 委員の代表に校長より交付



3 学校運営協議会について

- ・ 「静岡県立高校・特別支援学校における学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入の手引き」〈概要版〉をもとに、副校長より説明

4 会長、副会長の選任

- ・ 会長：上村 一成 様
- ・ 副会長：鈴木 修 様 承認

5 議事

【学校経営計画について】

- ・ 校長 学校教育目標
“互いを尊重し合える学校” ウェルビーイング 対生徒、対保護者、教師間で褒める、認める、「ありがとう」の感謝を伝える
- ・ 副校長 分校教育目標
目標具現化の柱・本年度の取組の説明（守る、育む、つなげる）
生徒が主体者として活動する
教職員の心理的安全性が高いチーム
共生・教育及び地域資源の活用
- ・ 学校経営計画 承認

6 動画視聴・校内参観

- ・部主事 本年度、3学年揃った
新しい風を受け止める4～6月だった
3年生の姿を頼もしく感じた
⇒インスタ等の動画視聴
- ・校内参観 (1年、2年 家庭科 3年 生活単元学習)



7 議事

【協議（グループワーク） テーマ「より良い富士東分校にするために、今日から私ができること」】

1 班テーマ

【良さを磨き】学校生活が充実し、安心して自分の良さを発揮できる学校にするために、できることは何か？

生徒A：車が好きで、職場実習は車関係の会社で行う予定。実習では挨拶を頑張りたい。学校でも後輩や先生への挨拶を努力している。

生徒B：常に自分から挨拶をするように心がけており、実習でも意識したい。

委員A：得意な挨拶と苦手な挨拶がある？

生徒A：「ごめんなさい」や「ありがとうございます」は得意だが、「おはようございます」や「こんにちは」は緊張するため苦手。

委員A：初めての人に挨拶をするのは緊張して勇気がいるが、少し勇気を出して言えると相手も嬉しいだろう。

委員B：実習でどのような挨拶をした？「おはようございます」や「ありがとうございました」は言えると思うが、「お疲れさまでした」や「明日もよろしくお願いします」のような相手を思いやる言葉が言えると、相手はとても嬉しい気持ちになるだろう。相手が喜ぶと、「頑張っってね」と応援してくれるだろう。

生徒B：相手が喜ぶように、声に張りのある挨拶をしたい。

委員A：声に張りのある挨拶をしようとすると緊張してしまうため、そのよう

な時は会釈やお辞儀だけでも良い。人とのコミュニケーションにおいて、話を聞くことは非常に大切である。友達にアドバイスをするために話を聞くのは大変だが、じっくりと相手の話を聞いてあげると、相手は嬉しいだろう。

生徒B：作業中に前工程の後輩のミスを指摘したところ、後輩にむっとした顔をされた。私は嫌な気持ちになったが、笑顔のままで再度「直してほしいです」と伝え、自分の席に戻った。後輩に見られないようにため息をついて、嫌な気持ちを流した。

委員A：3年生になって立派になった。

生徒B：1年生の頃は先生から何か言われると自分の気持ちを顔に出していたが、3年生になってそれが少なくなった。

生徒A：1年生の頃はふざけたり喧嘩をしたりしていたが、今は後輩ができて、そのようなことは恥ずかしいことだと思っている。ふざけても良い時はふざけるが、真面目な時は真面目にするようにしている。

2 班テーマ

【共に学び】東高との共生・教育で、新たにできることは何か？

生徒C：前回の話し合いの後、取り組んだことは、インスタの共同作成や投稿、ランチ交流や共生共育活動（作業学習の紹介）。しの探など、授業での交流や部活動交流をいつかやってみたいと考えている。

生徒D：前回の話し合いの後、取り組んだことは、ランチ交流や東雲祭のためのカウントダウンカレンダーの作成を自治会の方に依頼して一緒に作成したこと。今後の要望としては、東高生と一緒にランチをする場所がほしい。コミュニティールームなどが使えると良い。東雲祭、体育の部のランチ交流について、今年度はやり方が違っていた。昨年度のようにHRに行って、HRの皆さんとランチ交流したかった。

生徒E：私がやりたいことはランチ交流。東高生ともっと話がしてみたいと思っている。

<グループでの話し合い>

- ・インスタの作成や投稿を今後も続けていきたい。
- ・ランチ交流の頻度や場を増やしたい。
- ・しの探のような探究活動を分校の3年生も実施するかもしれないので、発表を同じ日に行うなどはどうか。
- ・行事を一緒に行ったり、一緒に写真を撮ったりして、一緒に思い出を作りたい。

委員C：ランチ交流は、両校のルールをすり合わせていけると良い。「こうしたい。」と声に出すことが大事。具体的にどんな案があるか？

生徒C：各階にフリーな部屋（コミュニティールームや探究室）ができると良い。

生徒D：分校は、月、水、金の昼休みは5時間目の移動教室がないので時間にゆとりがある。曜日限定の解放でも良いと思う。

委員C：授業や行事などの交流は、既存のものに入るの難しいかもしれないが、新しいものを作り出す発想で、互いの生徒からの意見・提案があると良いと思う。

3 班テーマ

【社会で協働する】青葉台地区の方々に貢献できることは何か？

○青葉台地区の行事への積極的な参加

毎年5月5日：『スポフェス・子供祭り』

10月第1日曜日：『青葉台地区秋祭り』

11月第2日曜日：『青葉台地区文化祭』※現在参加中

- ・上記三つの行事に富士東分校も積極的に参加してほしい。
- ・現在は参加していない『スポフェス・子供祭り』『青葉台地区秋祭り』にも、分校としてだけでなく、個人としても参加してほしい。

○青葉台地区の施設の清掃や活用について

- ・まちづくりセンターの清掃はとても感謝している。評判もとても良い。
- ・青葉台ふれあい広場（きのこセンターに行く途中にある広場）の清掃に関わることは可能。
- ・青葉台ふれあい広場のグラウンドを授業等で活用してもらうことも可能。

○今後の相互の関りについて

- ・青葉台地区のイベントのチラシを分校に配布
- ・富士東分校のイベントのチラシを青葉台地区に配布
- ・作業班の販売をインスタグラム等で通知。昨年度、青葉台地区の方がインスタグラムを見て農耕班の野菜を買いに来ている。連合会長佐野様の知り合いだった。

○今日からできること

生徒F：青葉台地区の行事に、分校としてだけでなく、個人としても積極的に参加していきたい。

生徒G：青葉台地区のことを知っていきたい。

4 班テーマ

【社会で協働する】地域の方々に愛される東分校になるために、できることは何か？

生徒H：前回の話し合いでは、「先輩・後輩の垣根をなくして、みんなが楽しいと思える学校にしたい」と伝えた。後輩には緊張せず、安心して過ごしてほしいと思っている。そんな学校になるように、今は意識して後輩たちとかかわっている。また、地域の方に富士東分校を知ってもらうために、Instagramでの情報発信も行っている。東雲祭があったときには、そのポスターを中学校や、職場実習でお世話になった会社に届けた。私たちのことを知ってもらえるよう、行動した。

委員E：Hさんが考える、先輩・後輩の関係がとても素晴らしい。対等な関係でありたいというその姿勢は、社会に出てからもとても大切なこと。それは、人権を大切にすることということにもつながる。そうした考えを持った生徒が東分校から巣立っていけば、地域そのものが少しずつ変わっていく。今回の班のテーマ「地域に愛される東分校」にも通じる取り組みになる。

いろいろなことに取り組んでいて、疲れることはないか？

生徒H：自分だけではできないと思うことは、まわりの人に手伝ってもらっている。中学校のときは「一人でいいや」と思っていたが、今は少しずつ考えが変わってきている。

委員E：そうやって SOS を出せることは、社会に出たときにも大きな力になる。自分を大切にできる人こそ、人からも大切にされる。そして、本当に良いリーダーというのは、自分の「できること」と「任せるべきこと」を見極め、適切に役割を分担できる人だと思う。

他に、不安に感じていることはあるか？

生徒H：私は職場実習で、サービス業（飲食・接客）に行く予定だが、お客様の顔色や態度が気になってしまって、ミスをしたらどうしようと不安になる。

委員E：ミスは、次の成功につながる。だから、ミスはしておいた方がいい。

失敗しない人生を選ばなくても大丈夫。

接客業では、いろいろな人と関わることになる。もし、態度があまり良くないお客様がいたとしても、「きっと何か嫌なことがあったのかもしれない」と、自分とは違う立場で考えてみるといいかもしれない。

生徒H：ありがとうございます。私は特に、後輩たちには不安な気持ちでいてほしくないと思っている。だから、「先輩だから」というプレッシャーは感じてほしくなくて、対等な関係でいたいと思っている。

委員E：対等な関係で、肩書きにとらわれず、人と人として向き合って対話をしていてほしい。そうした姿勢を実行できる人が富士東分校を卒業し、社会に出ていけば、やがて地域や社会を変えていく力になる。一方で、社会や職場では、どうしても肩書きや立場が必要になることもある。そうした関係の中でも、相手の気持ちに寄り添い、対話を通

して関係を築いていってほしい。

○今日からできること

生徒H：後輩や富士東分校の仲間と、対等な関係で、仲良く過ごしていきたい。

5 班テーマ

【社会で協働する】卒業後の生活を充実させるために、今できることは何か？

(仕事、余暇、生活、心身の健康)

生徒 I：将来仕事をして、お金を稼ぎ、家族を喜ばせたい思いがある。

長い時間働いてお金を稼いでいきたい。学校生活では、メンテナンス班に所属している。班長として活動しているが、話し合いの場面で意見を出してもらえないときが多く、悩んでいる。

委員 F：先日、ジョブコーチ支援の際に、職場の後輩に仕事を教えても、相手



の態度が悪く、返事をせずにイライラしてしまうケースの対応をした。

社会に出ると、話し合いなどの場面では、意見を出さないことはよくない。自分の意見を言うことの責任と、言わないことの責任がある。話し合いの場面では、後で文句が出ないように、事前に話し合いのルールを決めておくといよい。意見を言える雰囲気作りも大切。

生徒 J：生徒会長として活動しているが、意見がなかなか出ないときには、1つ出た意見に対して、そこから意見を広げることを意識している。また、意見が言えない人は、PCのチャットを使って意見を求めたこともある。チャットを活用することでいい面もあるが、収集がつかなくなってしまう場面もあり、難しさを感じた。

委員 F：社会に出たら、その場で返答しなければいけない場面も多い。突然な事柄に対する対応力をつけていくことも大切なのではないかな。

働いて5年10年と経験すると、本人が成長するので物足りなさを感じ、転職をするケースもある。それは悪いことではない。

高等部3年生になれば、18歳になる。18歳未満だと、保護者に未成年者取消権がある。社会人になると18歳になり、成人になる。会社での出来事は、保護者ではなく本人の責任になる。卒業して4月から働くが、その意識をすぐに持つことができるかということ、難しい部分がある。

生徒 I：在学中社会人になる準備として、お金の管理ができるようになりたい。

生徒 J：今日からできることとして、お金の管理を意識して生活していきたい。

8 コンプライアンス委員会

(1) 取組状況の説明（副校長）

- ・令和7年度不祥事根絶取組計画
- ・教職員の生徒指導に係る共通ルール

(2) 意見聴取

B委員：我が子が、異性との距離感について教師から指摘を受けたことに驚いた。世界が狭かった子どもたちがそういう年齢になったんだな、という感慨と共に、言葉の選択についても考える機会となった。

E委員：グループワークでも話題になったように、人と人との対等な関係、関わりが人権遵守につながる。

F委員：コンプライアンス、法令遵守について生徒自身が具体的に知っていくことが大切。

A委員：個人情報流出を防ぐ一方で、学校がもっている情報は多く、学校卒業後の支援に、情報提供が必要なことがある。情報提供の仕組みについても考えていくことが大切ではないか。

＊ 第2回学校運営協議会は、令和7年10月20日（月）10:00～12:00に開催の予定